



郵便
報知新聞
 第四百廿五号

本年三月廿二日の夜迄本賞つらぬめ
 全設け為さぬ馬鹿と云程の地獄女
 流行の毎區の街の有りざる無かれ其
 技何程多しぞ知れざる二時御前が能
 廻り不意の踏込と捕はる三人計と聞
 一この中多一度二度と料のれり
 有べき播前年御觸の出の間際高直
 の鬼を買し連中と向ト歎の事され
 一蓮託生散と不便とするに足らぬ
 是此度ふらと正業の立戻と即ち
 其日より良民とあり又勝手と此
 賤業が為一度ハ吉原根津や四宿
 の位官轄を受ふの良と呼れ賤と
 称らる其二道の追分此夜一條の
 繩の下み決するあふ



大橋
 彫刻
 彫刻

金錦堂

